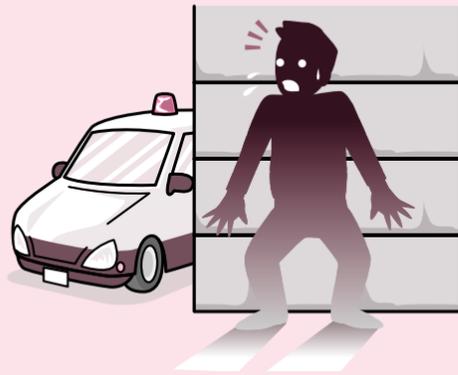


防犯条例について

Q 平成16年第1回定例会で、「安心・安全の街づくり」条例について、お尋ねいたしました。再度、防犯条例の制定について伺います。

A 犯罪を起こさせにくい環境の整備を行うには、市民及び民間事業者による、役割や責務を明らかにし、共に力を合わせて、防犯のまちづくりに関する施策を積極的に推進していかなければなりません。今後においては、市民一人一人が防犯意識を高め、犯罪のない安全で安心して暮らせる「防犯のまち」の実現に向け、防犯条例の策定に向けて、準備した



戸川 須美子
と考えております。

福祉問題について

Q 障がいを持った子供たちや親たちが真に望むケアを理解し、その方向付けがどのように行われ、ケアがされているか又、親たちに対し精神的な援助が行われているかどうかお伺いいたします。

A 現在、乳幼児健診において、障害の早期発見に十分留意し、同時に適切な支援を行うため「すこやか相談」や療育を中心に臨床心理士や家庭児童相談員により個別ケースに応じたきめ細やかな体制で臨んでおります。児童が将来にわたり住みなれた地域で安心して自立した生活ができるよう福祉の各種制

瀬戸 知英子

度を適切に活用し第2次八潮市障害者行動計画の基本理念である「ともに生き、ともに支え合う地域づくり」を積極的に進めてまいります。

今後、児童を中心とし、親や家族の不安や精神的負担が軽減できるようピアカウンセリングの促進に努めると共に各種施策を推進してまいりたいと考えております。

バス路線について

Q 循環バスの廃止に伴い、今後の対応とコミュニティバスの運行について。

A つくばエクスプレスが開業することにあわせて、八潮駅へのバス交通の確保を中心としてバス路線の見直しを図るため、平成16年8月に、関係機関及び本市で構成する検討会を設置し、バス路線網の再編案を作成しました。この中で、現行の市内公共施設循環バスの見直しについても検討されており、つくばエクスプレスの開業時には、八潮駅への乗り入れを実現し、他の路線バスへの影響を考慮して、無料運行を見直すこと

宇田川 武雄

が必要とされました。

このことから、8月24日からコミュニティバスとしての運行に移行し、ルートは北ルートと西ルートを予定しております。運行は、午前7時から午後9時台までとし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を含む通年運行を予定しております。また、運賃は、通常の路線バスと同水準になる見込みです。

鉄道行政について

Q つくばエクスプレスが、8月24日に開業いたします。八潮駅の他に、19の駅が出来ます。他の駅周辺の観光、施設などを利用するために、JR等で発売している周遊券の発売を鉄道会社にお願ひしてください。

A 初乗り料金は、160円。この他に回数券が3種類用意されており、普通券が11枚綴り、平日の昼間利用券12枚綴り、土・休日券14枚綴りを、それぞれ10枚分の値段で販売される予定になっております。周遊券の販売につきましては、鉄道会社において、発売について検討を行っているところであ

近藤 晶作

り、全線乗り降り自由なフリーパス券や、一部区間のみ利用可能な一日券の発売等の検討も行ってまいります。

今後は、沿線の自治体とも協調しながら、沿線の観光商業等の振興及びつくばエクスプレスの利用促進のために、沿線の整備状況なども勘案しながら、周遊券等の発売について提案してまいりたいと考えております。

鉄道事故対策について

Q 待望のつくばエクスプレスが8月24日に開通致します。JR福知山線列車脱線事故を教訓として、もしも、市内や近郊にて列車事故が発生した場合の行政の対応について、危機管理対策と消防本部の訓練は、どのようになっているのかお聞かせください。

A 市としては、八潮市災害対策本部条例に基づき直ちに災害対策本部を設置し、情報収集を行うとともに乗客の救出・救助を最優先に全力をあげて取り組んでまいります。なお、今後の危機管理としては、これまで中心だった自然災

森 伸一

害以外に、テロやSARSなどこれまで想定できなかった新たな危機に備え、これら様々な危機を対象とする八潮市の危機管理指針を定めてまいりたいと考えております。

行政の対応としては、6月と8月に守谷総合基地と八潮駅にて、飛び込み事故やその他の事故を想定し、鉄道職員と合同で救出活動のための車両ジャッキアップや車両構造研修、また、通報連絡体制など、実践的な訓練を予定しております。

バス路線網について

Q 駅開業に伴うバス路線網の計画が発表されています。二丁目・伊勢野・大瀬については、亀有行きバスが八潮駅始発となりバス便数が減少します。これに対する対策を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

A つくばエクスプレス開業時のバス路線網案では、二丁目・伊勢野・大瀬を結ぶ区間を運行する予定のバス路線としては、再編案で報告されているとおり、草加駅を出発し、緑町・二丁目・木曾根・伊勢野・大瀬を経由し、八潮駅を結ぶ路線の運行が予定されているほか、

鹿野 泰司

再編案には掲載されていないものの、新たに木曾根周辺の方々の通勤通学時のニーズにこたえるため、木曾根を出発して伊勢野・大瀬を経由して八潮駅へと結ぶ路線を朝夕に運行する予定であるとのこと。

再編後のバス路線等については、比較的短い期間で見直しを検討していくと伺っており、市としてもより望ましいバス路線網の構築を図ってまいりたいと考えております。